

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【公開番号】特開2015-129234(P2015-129234A)

【公開日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-045

【出願番号】特願2014-1732(P2014-1732)

【国際特許分類】

C 08 F	20/36	(2006.01)
C 09 J	4/00	(2006.01)
C 09 J	11/06	(2006.01)
C 09 D	4/00	(2006.01)
C 09 D	7/12	(2006.01)
B 32 B	27/00	(2006.01)

【F I】

C 08 F	20/36	
C 09 J	4/00	
C 09 J	11/06	
C 09 D	4/00	
C 09 D	7/12	
B 32 B	27/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月28日(2016.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0201

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0201】

[実施例11～24] [比較例1～4]

接着剤及び保護フィルムを表4の記載に従って変更した以外は、実施例10と同様の方法で偏光板(実施例11～24、比較例1～4)を作成した。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0213

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0213】

[実施例26～41] [比較例5～8]

コート剤および光学フィルムを表5の記載に従って変更した以外は、実施例25と同様の方法で積層体(実施例26～41、比較例5～8)を作成した。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0216

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0216】

《耐熱性》

実施例2 5 ~ 4 1、比較例5 ~ 8で得られた積層体を、50mm × 40mmの大きさに裁断し、80 - dryの条件下で1000時間暴露した。暴露後積層体の端部の剥がれの有無を目視にて、以下の3段階で評価をした。

- ：剥がれが全く無し
- ：1mm未満の剥がれあり
- ×：1mm以上の剥がれあり